

監査結果に関する措置状況報告書

令和4年度包括外部監査（「大阪市地域防災アクションプランVer.2.0」を中心とする防災に関する事務事業の検証）

所 管 所 属：淀川区役所

通知を受けた日：令和6年3月15日

監査結果 No.	頁数	指摘等の概要	措置内容又は措置方針等	措置分類	措置日 (予定日)
意見8	51	（ＡＰ１－１）有効なＢＣＰの策定（３Ｅの視点） ①各区は、具体的な想定被害を踏まえた上で参集予測を行われたい。	南海トラフ巨大地震の被害想定を前提条件とし、職員個人個人が家庭状況や職場までの参集ルート上の被害状況を踏まえ、何時間で職場に参集できるのかを検討し報告させるなど、具体的な被害想定を踏まえた職員の参集予測の作成を検討する。	見解	—
意見9	52	（ＡＰ１－１）有効なＢＣＰの策定（３Ｅの視点） 各区は、ＢＣＰの業務詳細一覧における必要職員数と、参集予測によって参集が見込まれる人数を対照した上で、現実的なＢＣＰを検討されたい。	具体的な被害想定を踏まえた職員の参集予測を作成し、業務詳細一覧における必要職員数とを対照した上で、ＢＣＰの更新作業を行う。	見解	—
意見11	54	（ＡＰ３）要配慮者たる職員への配慮（多様性・要配慮者への合理的配慮の視点） 各所属は、災害発生時に障がい者をはじめとする要配慮者たる職員それぞれに対して必要となる配慮について検討の上、意識共有及び対応能力向上のため、訓練に組み込むべきである。	要配慮者たる職員の区災害対策本部編成上の配置について、区役所内への配置となるように配慮しているが、各職員とコミュニケーションを取りながら、必要となる配慮について検討する。	見解	—

監査結果に関する措置状況報告書

令和4年度包括外部監査（「大阪市地域防災アクションプランVer.2.0」を中心とする防災に関する事務事業の検証）

所 管 所 属：淀川区役所

通知を受けた日：令和6年3月15日

監査結果 No.	頁数	指摘等の概要	措置内容又は措置方針等	措置分類	措置日 (予定日)
意見15	60	（ＡＰ４）三師会との連携強化（３Ｅの視点） ①各区は、災害時の医療体制について、協定締結団体との間で、医療活動体制の具体化に向けた協議、合意形成を行われたい。	淀川区においては、平成30年度に「淀川区災害時医療救護体制検討会議」を設置、また、令和2年度に「大阪市淀川区災害時医療救護マニュアル」を策定しており、災害時医療救護活動について協議、合意形成を行っている。	見解	—
意見17	63	（ＡＰ７－１）個別施策シートの目標値、実績値の記載方法（ＰＤＣＡの視点） 各区は、個別施策シートの福祉避難所の確保及び充実の目標値について、必要となる福祉避難所の収容人数をベースにした数値目標を定めた上で、進捗評価をされたい。	数値目標を定め、個別施策シートの進捗評価を行い、ＰＤＣＡを有効に機能させる。	見解	—
意見18	65	（ＡＰ７－１）福祉避難所の充足率の公表（市民への情報伝達の視点） ①策定チーム及び各区は、福祉避難所の充足率を把握されたい。 ②策定チーム及び各区は、福祉避難施設数が大幅に不足していることを市民に告知した上で、要配慮者についても一般の避難所内での避難又は自宅避難の必要性があることを事前に告知されたい。	上記に同じ	見解	—

監査結果に関する措置状況報告書

令和4年度包括外部監査（「大阪市地域防災アクションプランVer. 2.0」を中心とする防災に関する事務事業の検証）

所 管 所 属：淀川区役所

通知を受けた日：令和6年3月15日

監査結果 No.	頁数	指摘等の概要	措置内容又は措置方針等	措置分類	措置日 (予定日)
意見19	66	(AP7-1) 福祉避難所開設・運営訓練の実施（PDCAの視点） ①各区は、福祉避難所開設・運営訓練を定期的に実施するよう取り組みたい。	協定締結施設において福祉避難所の開設・運営をすることになるため、訓練の実施についても同施設に対して働きかけをする。	見解	—
意見23	74	(AP9-3) 地区防災計画の利便性（市民への情報伝達の視点） ①各区は、地区防災計画について、市民の見やすさ、利用しやすさを踏まえて作成されたい。	淀川区18地域それぞれに地域特性があるため、地域の意向も踏まえながら、順次改訂を行う。	見解	—
意見24	74	(AP9-3) 地区防災計画の内容（市民への情報伝達の視点） ①各区は、地区防災計画の内容について、災害時に必要かつ十分な情報が掲載されているかを精査し、改訂されたい。	地区防災計画については、策定から数年が経過しているため、他区の地区防災計画も参考しつつ、地域と協働し順次改訂を行う。	見解	—

監査結果に関する措置状況報告書

令和4年度包括外部監査（「大阪市地域防災アクションプランVer. 2.0」を中心とする防災に関する事務事業の検証）

所 管 所 属：淀川区役所

通知を受けた日：令和6年3月15日

監査結果 No.	頁数	指摘等の概要	措置内容又は措置方針等	措置分類	措置日 (予定日)
意見27	78	（ＡＰ10－３）個別避難計画の策定（合規性の視点） ①各区は、個別避難計画の策定についてスケジュールを定めた上で、概ね令和8年度までに確実に個別避難計画が策定されるように進捗管理をされたい。	淀川区においては、令和7年度末までに全18地域で個別避難計画の策定が進んでいる状態を目標としている。なお、毎年度、要援護者の死亡や新たな要援護者が発生するため、どこかの年度をもって完了できるというものではない。	見解	—
意見29	82	避難施設の整備・拡充に関する周知（市民に対する情報伝達の視点） ②建設局及び各区は、避難施設の整備・拡充の進捗状況について、適切に市民等へ周知を行われたい。	毎年度、広報誌に避難施設を記載した淀川区防災マップを掲載し、広く市民等へ周知するとともに、区役所へ転入手続に来られた方へも同マップを配布しており、継続して取り組むこととする。	見解	—
意見30	83	（ＡＰ12－１）津波避難施設の確保に向けた目標の設定（ＰＤＣＡの視点） 該当区は、地域毎の避難計画を踏まえた津波避難施設の確保について、具体的な数値目標を設定し、個別施策シートに記載して進捗管理を行うべきである。	淀川区内全体としては津波避難施設の数は充足しているため、目標設定の見直しや具体的な数値目標について検討し、進捗管理を行う。	見解	—

監査結果に関する措置状況報告書

令和4年度包括外部監査（「大阪市地域防災アクションプランVer.2.0」を中心とする防災に関する事務事業の検証）

所 管 所 属：淀川区役所

通知を受けた日：令和6年3月15日

監査結果 No.	頁数	指摘等の概要	措置内容又は措置方針等	措置分類	措置日 (予定日)
意見34	88	（ＡＰ14－２）防災訓練の充実（ＰＤＣＡの視点） ①各区は、社会福祉協議会と連携した防災訓練において、ボランティアニーズとのマッチングを含めた訓練を実施されたい。	淀川区社会福祉協議会において、災害ボランティアセンター開設・運営マニュアルを作成中であり、今後、マニュアルに沿った訓練の実施やマニュアルの改善を行っていく。	見解	—
意見48	116	（ＡＰ24－１）水防事務組合の高齢化、充足率を踏まえた水防団員募集への協力にかかる効果的な手法の検討（ＰＤＣＡの視点） 建設局及び該当区は、各水防事務組合と協力の上、水防団員の増員に向けてより効果的な手法を検討する等して、水防団の充実強化に努められたい。	淀川右岸水防事務組合及び関係区を交えて効果的な手法を検討し、水防団の充実強化に努める。	見解	—

監査結果に関する措置状況報告書

令和4年度包括外部監査（「大阪市地域防災アクションプランVer.2.0」を中心とする防災に関する事務事業の検証）

所 管 所 属：淀川区役所

通知を受けた日：令和6年3月15日

監査結果 No.	頁数	指摘等の概要	措置内容又は措置方針等	措置分類	措置日 (予定日)
意見56	133	（A P27－1）他団体との連携強化（政策の統合・調整の視点） 各区は、経済戦略局及び公益財団法人大阪国際交流センターと連携し、外国語通訳の確保に関し、各区間で重複が生じないようにするため、多様な団体との連携をされたい。	経済戦略局及び公益財団法人大阪国際交流センターと連携し、外国語通訳の確保に関し、多様な団体との連携ができるよう努める。	見解	—
意見59	136	（A P28－1）進捗管理指標の改善（P D C Aの視点） ①各区は、進捗管理指標と目標値の設定を再検討されたい。	設定を再検討すべき施策については、策定チーム及び危機管理室の助言等を受けながら設定する。	見解	—

監査結果に関する措置状況報告書

令和4年度包括外部監査（「大阪市地域防災アクションプランVer. 2.0」を中心とする防災に関する事務事業の検証）

所 管 所 属：淀川区役所

通知を受けた日：令和6年3月15日

監査結果 No.	頁数	指摘等の概要	措置内容又は措置方針等	措置分類	措置日 (予定日)
指摘2	171	適切な個別施策シートの確認と助言 ①各区は適切な個別施策シートの作成を行い、進捗指標及び進捗管理に取り組まれない。	・令和4年度の個別施策シートにおいては、指摘2を踏まえ進捗評価を適切に実施した。なお、AP9-3については、コロナ禍の影響で取組が停滞していたが、令和4年度は自主防災組織と協働で見直しのためのワークショップ等を実施し、計画どおり取組を進めることができた。 ・令和5年度の個別施策シートにおいては、本市地域防災アクションプラン策定チームの助言のもと、個別施策・進捗管理指標の修正や、目標値の数値化を行うなど、適切に作成した。 ・今後も個別施策シートについて、本市地域防災アクションプラン策定チームの助言のもと、進捗評価・進捗管理を行っていく。	措置済	令和5年9月20日
意見77	177	目標値の数値化の徹底 ①全所属は、個別施策の進捗評価について、取組結果や目標値の数値化が可能なものについては可能な限り数値化した目標値を設定されたい。	該当する施策については、可能な限り取組結果や目標値について数値化する。	見解	—

監査結果に関する措置状況報告書

令和4年度包括外部監査（「大阪市地域防災アクションプランVer.2.0」を中心とする防災に関する事務事業の検証）

所 管 所 属：淀川区役所

通知を受けた日：令和6年3月15日

監査結果 No.	頁数	指摘等の概要	措置内容又は措置方針等	措置分類	措置日 (予定日)
意見78	177	APの個別施策シートの「進捗評価」の利用（PDCAの視点） 全所属は、AP個別施策シートの「目標に対する進捗評価」がC（60%未満）である施策に関して、次年度以降の対処方法を明確に定められたい。また、策定チーム及び危機管理室は、当該施策に関する全所属に対し、対処を助言することにより、アクションプランにおけるPDCAのサイクルを有効化するように努めるべきである。	AP7-2：協定締結施設において福祉避難所の開設・運営をすることになるため、訓練の実施についても同施設に対して働きかけをする。 AP9-3：地区防災計画については、策定から数年が経過しているため、他区の地区防災計画も参考しつつ、地域との協働や意向を踏まえながら順次改訂を行う。	見解	—